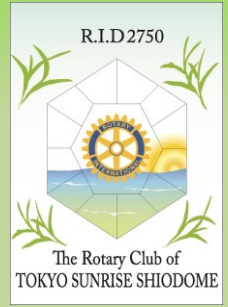


◆ WEEKLY REPORT ◆



R.I.D.2750 Chiyoda & Pacific
Basin Group
The Rotary Club of
TOKYO SUNRISE SHIODOME



R.I.会長 シェカール・メータ

2021-22年度 会長 熊谷行裕
クラブテーマ「身近な奉仕活動に積極的に参加しよう」

No.287 24 Feb. 2022 発行

第286回 ZOOM 例会

【日時】2022年2月17日(木) 12:30~13:30

【例会場】オンライン

【例会出席】会員数 17名 名誉会員 6名 【出席者 11名 ビジター 0名 ゲスト 0名

【出席率】64.7%

【ニコニコBOX】¥5,000—

《プログラム》

◇ 会長挨拶

今日は山本直道会員が卓話で大日本帝国憲法の続きをして頂けるという事で楽しみにしています。他に色々決定しなければいけない事が有りますので、よろしくお願いします。

◇ 幹事報告

熊谷会長宛に港区子ども食堂からお礼状が届いております。させて頂いた寄付は子供達のフードバンクに使わせて頂きますとの事です。地区補助金に関して変更事項が有りますので、延期に関して共有して頂きますようお願い致します。

◇ 出席報告

◇ にこにこBOX

熊谷行裕：コロナが少しだけ弊つつありますが、全く安心できません。当クラブも会員が早く3回目を接種して、リアル会合を開きたいものです。地震情報です。東海地区と関西に1つ、九州の熊本辺りに大きな地震の可能性があります。とくに関西、九州方面の方ご注意ください。

板橋一成：10日ほど前に3回目の接種を終えました。前2回はファイザーワクチンだったので副反応はなかったのですが、今回はモデルナであり微熱がありしんどかったです。

山本直道：本日は、前回10月21日に引き続き、大日本帝国憲法のお話の続きについて卓話させて頂きますのでよろしくお願いします。

司 会：鹿島孝夫会員

熊谷行裕会長

板橋一成幹事

◆会長：熊谷行裕 ◆幹事：板橋一成 ◆副会長：愛知とし子【発行責任者】

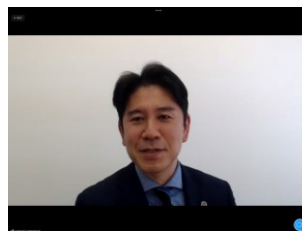
【創立】2014年10月15日【例会日】毎週木曜日 12:30~13:30【例会場】ザ ロイヤルパークホテルアイコニック東京汐留
〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-18-3 (南エルーデ内) / TEL:03-6380-5798 / FAX:03-6273-1196

【URL】<https://suns-rc.org/> 【E-mail】office@suns-rc.org

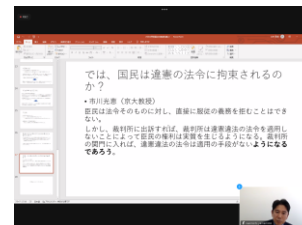
◇ 『続・大日本帝国憲法のお話』

本日は前回の続きで統帥権からお話させて頂きたいと思います。歴史的な当時の事情も加味しながら説明していきます。第11条「天皇は陸海軍を統帥す」とあり、封建体制からの脱却という霊視的意義は大きいですが、規定が余りに簡素で後日勝手な解釈が横行しました。特に文民統制の規定が無いのが致命的であったと思われます昭和5年(1930年)4月ロンドン海軍軍縮条約を浜口雄幸首相が海軍軍令部や当時野党だった政友会が批判しました。しかし兵力量の決定は統帥権の範囲ではないはずで単に言いがかりであったかと思えます。では海軍大臣を文民にして海軍を統制できていれば良かったのかと言いますと、軍制の経緯上、軍部大臣現役武官専任制が採用された時期が多かったのです。統治機構の規定の特徴として、議会と内閣の関係が有りまして、必ずしも議院内閣制を要請していませんでしたし議院内閣制的な運用も出来ていて実際にしていた事も有りました。憲政の常道というのが、衆議院での第一党から首相を出して、その第一党の内閣が失政で倒れたら野党第一党から首相を出して政権交代しますが、暗殺等の場合では政権交代させずそのまま第一党が別の人物を首相に出すという事で、文明国になったのでトップを殺したからといって政権がひっくり返るといった事は無いという事です。帝国憲法下の議院内閣制です。現在では日本の内閣総理大臣は強い権限があるのですが、帝国憲法には内閣は無いので同輩中の首席であり、他の大臣を勝手にやめさせたりは出来ませんでした途中から政党を作って行うようになったので、今の内閣に近かったのかもしれませんが、軍部についてはその仲間とは別の存在でした。それが軍部大臣現役武官制に繋がります。その為組閣に注文を出すようになり、力関係上軍部が上になってきてしまいました。世界的な軍縮傾向に対しての抵抗もあり軍部がごねるといった形になってしまったと思います。そして司法権についてですが、1番の欠陥として違憲立法審査権の明文が無かったことです。国会が憲法に保障された人権に反するような憲法を作ってしまった時に、運用の過程で国民が人権侵害に有ったりした際裁判の中で法律が違うという事を主張する事が出来ない状態でした。しかし解釈上違憲立法審査権を全ての人が否定したわけではありませんでした。ただ当時の運用がどこまでなされたかといえれば心許ない所です。

山本直道会員



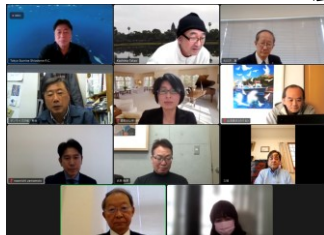
山本直道会員



熊谷行裕会長



鹿島孝夫会員



3月11日

『閑上の記憶』

今年も寄付をさせて頂きました。コロナ禍で皆さんの参加は出来ませんでしたがこちらが完成した倉庫です。

◇ 講評

私は法学部でしたのでとても楽しかったですが、分野の違う人からすると難しかったかとも思いました。直道先生が中々マニアックだという事が分かりました。しかしこれが現在の憲法に繋がっていくと思いますので、またお話を楽しみにしています。

熊谷行裕会長

◇ 開会点鐘

《今後の主な行事予定》

◇ 5月13日 地区大会 ※予定変更

《今後の例会スケジュール》

- ◇ 2月24日 休会
- ◇ 3月 3日 12:30~13:30
- ◇ 3月10日 12:30~13:30